

2024年市民活動重大ニュース【分野: 支援組織】

	月日	項目	解説	執筆者
1	2024年6～7月	「中間支援機能に関する研究会」が各地でシンポジウム開催	2024年3月に『地域コミュニティ支援が拓く協働型社会 地方から発信する中間支援の新展開』(学芸出版社)を刊行した同研究会は、6月には群馬県の高崎経済大での日本NPO学会や岩手県盛岡市で、7月には神戸市、9月には北海道札幌市の各地で公開シンポジウムを開催した。神戸市でのシンポジウムは「これからの中間支援を考えるシンポジウム」と題され、300名以上の参加者があった。	吉田 忠彦
2	2024年7月25日	休眠預金資金分配団体「京都地域創造基金」契約解除	休眠預金の指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)は、実行団体選定において利益相反があった「京都地域創造基金」に対し契約解除し、当面、資金分配団体としての申請を不可とする措置を講じた。また、実行団体である「栃木公立夜間中学校研究会」(任意団体)が助成金不正使用により実行団体の「選定取消」の措置を受けたことが7月22日に報告されている。	
3	2024年11月24日	さわやか福祉財団の堀田力さん死去	東京地検特捜部の検事としてロッキード事件の捜査を担当。退官後に「公益財団法人さわやか福祉財団」を創設した。阪神・淡路大震災後には政府のボランティア支援立法の構想に対して、ボランティア団体法を提示し、その後「市民・連合ボランティアネットワーク」の共同代表としてNPO法成立に向けて尽力した。支援組織としては、日本ファンドレイジング協会代表理事を務めた。	